

地元企業を詳しく知ろう

南木曾・蘇南高でガイダンス



企業側から事業内容などの説明を聞く生徒たち＝南木曾町の蘇南高で

南木曾町の蘇南高校で二日、「ふるさと探究学 企業ガイドランス編」が開かれ、全校生徒百四十九人が

木曾地域の企業や団体から、事業内容や地域での役割などの説明を聞いた。進学後に中京圏など地域

外で就職する生徒が多いことから、地元の企業の活躍を知り、働く魅力や意義を考え、進路選択に役立ててもらおうと企画。木曾福島公共職業安定所と県木曾地域振興局が協力した。昨年は二、三年生が対象だったが、今年は一年生も加えた。

木曾地域に事業所を置く建設業や製造業、観光業をはじめ、南木曾町役場、木曾広域消防本部など計十九の企業・団体が参加し、各教室に分かれた。生徒は希望する二カ所を選び、映像などを交えた説明を聞き、質問もしていた。

三年の三石達万さん(こ)

は「町役場の課ごとの仕事内容など、知らないことがたくさんあった。働いている人から直接、話を聞く機会はあまりなく、進路選択の参考になった」と話した。

(生田貴士)